様式B-3

リーディングDXスクール事業　【実践事例】

長崎市立小榊小学校

【取組内容①】「個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実につながるクラウド活用」

・ジャムボードを活用した心のものさし（道徳）

４年　道徳科　「お母さんのせいきゅう書」

【クロームブックの活用場面】
- 子どもが自分の立場を明らかにして意見を出すために、ジャムボードの付箋に名前を書いて心のものさしに貼る。
- 全体で意見を共有したあと、自分の意見が変わった人は付箋の色を変えて動かすことで、意見の変容を見取ることができるようにした。

【授業の展開】

【めあて】

家族との生活で大切なことは何だろう。

【学習の流れ】

①めあてを確認し、学習の見通しをもつ。
②「お母さんのせいきゅう書」を途中まで読み、内容をつかむ。
③ジャムボードの心のものさしを使って、たかしがお母さんにお金を請求したことに対して「賛成」と「反対」に分かれて、全体で意見の交流を行う。
④全体で意見を交流した後、自分の意見が変わった場合は付箋の色を変えて動かす。
⑤「お母さんのせいきゅう書」後半を読み、お母さんやたかしの心情について考える。
⑥めあてに対する自分のまとめを考える。
⑦学習を振り返る。

【工夫点・子供の変容】

- 児童一人ひとりが自分の立場を明確にすることができ、さらに、他者の立場や考えにもふれることができた。
- 全体で意見を共有したあとに、自分の意見が変容した子は付箋の色を変えることで、意見の変容を見取ることができた。